

会員および会費等に関する規程

令和 8 年 5 月 7 日制定

第1章 総則

(目的)

第1条 本規程は、定款第 2 章および組織運営規程第 3 章に基づき、一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会（以下「本会」という。）の会員資格、会費、入会金およびその取扱いに関する事項を定め、会員制度の適正な運用を図ることを目的とする。

(用語の定義)

第2条 本規程において使用する用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 本会：一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会
- (2) 会員：正会員、賛助会員および名誉会員の総称
- (3) 日臨技：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
- (4) 事業年度：毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる期間

第2章 会員の区分と資格

(会員の区分)

第3条 本会の会員は、次のとおりとする。

- (1) 正会員
- (2) 賛助会員
- (3) 名誉会員

2 正会員は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(資格)

第4条 正会員は、岩手県内に居住または勤務し、臨床検査技師免許または衛生検査技師免許を有する個人であって、本会の目的に賛同して入会した者とする。

2 正会員になろうとする者は、日臨技への入会も必須とする。

3 賛助会員は、本会の事業を賛助する意思を有する個人または団体とする。

4 名誉会員は、本会に功労のあった者または学識経験者であり、理事会の推薦を経て総会の承認により選任される。選任基準および手続については、理事会において別途定める。

(権利)

第5条 正会員は、定款第 7 条に基づき、総会において議決権を有する。

(会員年数)

第6条 岩手県臨床衛生検査技師会から引き続いて本会の会員になった者は、その期間を会員年数に加算する。

第3章 入会および退会

(入会)

第7条 正会員として入会を希望する者は、日臨技に対して会員申込手続きを行い、所属都道府県とし

て岩手県を選択するものとする。

- 2 賛助会員として入会を希望する者は、所定の申請書を本会事務局に提出するものとする。
(退会)

第8条 日臨技を退会したときは、本会の正会員としても退会したものとみなす。

- 2 賛助会員は、事業年度ごとに申請を行うものとし、年度末で自動退会となる。
(会員資格の喪失および除名)

第9条 本会の会員は、定款第 11 条および第 12 条に基づき、次のいずれかに該当する場合、除名または会員資格を喪失することがある。

- (1) 定款または規則に違反したとき
 - (2) 本会の名誉を傷つけ、または目的に反する行為をしたとき
 - (3) 成年被後見人又は被保佐人となったとき
 - (4) 死亡、失踪宣告、又は会員である団体が解散したとき
 - (5) 催告の期限を超過して会費の支払い義務を履行しなかったとき
 - (6) 総正会員の同意があったとき
- 2 除名は、総会の決議を経て行うものとし、当該会員には事前に通知し、弁明の機会を与える。
- 3 除名または資格喪失に伴い、当該会員の本会における権利および義務は消滅する。ただし、未履行の義務は免除されない。
- 4 既納の入会金および会費並びにその他の拠出金品は、返還しない。
(再入会)

第10条 退会した正会員が再度入会を希望する場合は、改めて日臨技へ入会申請を行うものとする。

第4章 会費および入会金

(納入義務)

第11条 正会員および賛助会員は、会費および入会金を納入しなければならない。

- 2 名誉会員の年会費は、これを免除する。
- 3 正会員は、日臨技の定める会費および入会金も併せて納入しなければならない。
(金額)

第12条 会費および入会金の金額は、総会の決議により次のとおり定める。

- (1) 正会員：年会費 7,000 円、入会金 500 円
- (2) 賛助会員：年会費 20,000 円、入会金なし

(納入期)

第13条 会費の納入期は、原則として事業年度開始前の 2 月までに、次年度分を所定の口座に入金するものとする。

- 2 新入会員は、入会手続と同時に当該年度の会費および入会金を納入するものとし、次年度以降は原則として口座振替により納入する。

(減免)

第14条 正会員は、失業、長期療養、介護、災害等の特別な事情がある場合、本会会費の減免を申請することができる。

- 2 日臨技会費の減免を希望する場合は、別途日臨技への申請が必要である。
- 3 会費の減免については、別に定める会費減免規程による。
(返金不可)

第15条 退会、除名、資格喪失等により会員資格を喪失した場合であっても、既納の入会金および会費は返還しない。

第5章 会員情報

(管理)

第16条 本会の正会員情報は、日臨技システムにて管理するものとする。

2 賛助会員の情報は、事務局で管理する。

(変更)

第17条 会員情報に変更があった場合、速やかに日臨技会員管理システムにて自ら変更手続きを行うものとする。

2 日臨技システムでの会員情報の修正権限は、常務理事に与えるものとする。ただし、会長が必要と認めた者には、理事会決議により権限を与えることができる。

(閲覧)

第18条 日臨技システムでの本会会員情報の閲覧権限は、常務理事に与えるものとする。ただし、会長が必要と認めた者には、理事会決議により権限を与えることができる。

2 正会員は、正当な理由がある場合に限り、事務局に申出を行い、事務局の判断により賛助会員の情報を閲覧することができる。

(会員証)

第19条 正会員には、日臨技より会員証が発行される。

2 会員証の取扱いについては、日臨技の定めに従う。

第6章 補則

(様式の管理)

第20条 第20条 本規程に基づく様式は、事務局が保管し、必要に応じて改訂することができる。

(個人情報の取扱い)

第21条 本規程に基づき取得した会員情報は、会員管理および本会の運営以外の目的には使用しない。

2 個人情報の管理責任者は事務局長とし、適切な管理体制を維持するものとする。

附則

(施行日)

附則第1条 本規程は、令和8年5月7日から施行する。

(規程の改廃)

附則第2条 本規程の改正または廃止は、理事会の決議を経て行うものとする。ただし、会費および入会金の金額の変更は、総会の決議を経て行うものとする。

(経過措置)

附則第3条 本規程の施行に伴い、従前の定款細則第1条から第4条に定められていた会員および会費に関する事項は、本規程に統合する。

2 前項により、当該定款細則は令和8年5月23日の総会決議をもって廃止する。

(改正履歴)

附則第4条 本規程の改正履歴は、次のとおりとする。

改定日	内容
令和 8 年 5 月 7 日	制定